

台湾・屏東大学との国際交流活動2025（教職大学院院生実践活動Ⅰ） ～大学生と小学生への実践を比較して～

○経緯
2024年度 高度教科内容研究[他地域教育実践]の授業内での取り組み

○概要
実施日時：2025年10月22日～10月23日
実施場所：屏東大学、高雄師範大学附属小学校

○授業目標
紋切り遊びで日本文化に親しもう



屏東大学
※概ね日本語で実施

高雄師範大学附属小学校
※概ね英語で実施



授業者を含めた受講生全体を2グループに分け、各グループがそれぞれ対応する授業者（伊藤・藤澤）に対して質問を行った。その後、全体交流の場を設け、各グループは担当していなかった授業者に関する質問を行い、それに対しては授業者ではなく生徒が回答した。

自己紹介

自己紹介を中国語でおこなった。



紋切りってなに？

←紙を折り、型紙どおりに切り抜いて「紋」のかたちをつくるもの
剪纸…ハサミや彫刻刀などで切って、繋げたまま模様を作る中国民間工芸→



紋切り体験

- 1, 左図の折り紙を配布する
- 2, どんな形になるか予想する
- 3, ハサミを使い線に沿って切る

大学生はほとんどの学生、小学生は1、2人が答えに辿りつけていた。

紋切り製作

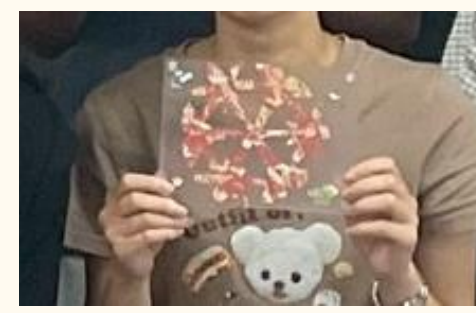
自由製作



四角4つ折り



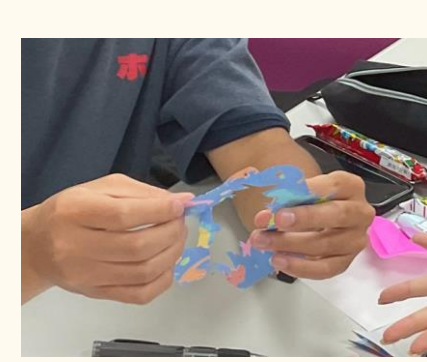
6つ折り



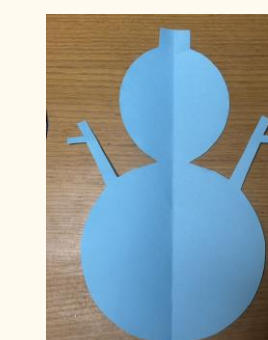
8つ折り

四角4つ折り、三角4つ折り、6つ折り、8つ折りのハサミのみでできる（カッターは不要）紋切りのお題を各7種類ずつほど用意した。

学生は自分が作りたいお題を選び、どう切ればお題通りのものが作れるのかを考えながら作成した。質問等あれば日本語で質問してもらい、交流をはかった。



クリスマスツリー&雪だるま製作



等身のバランスが取れているか、手の向きが正しいか

木の枝が4本あるか木の幹が細すぎないか



- ①折り紙を配布し、半分に折る。
- ②開いたらお題と同じクリスマスツリー、雪だるまになるように、ハサミで切るガイドラインを鉛筆で書く。
- ③ガイドラインに沿ってハサミで切る。
- ④開けた時にお題と同じに切ることができているか確認する。
- ⑤①～④で成功した児童は製作していない方のお題を、間違いがあった児童はやり直しを行った。

フォトフレーム製作

一つお気に入りの作品を選んでもらう。透明なフォトフレーム、デコレーション用のペン、日本らしいシールを配布する。作品をペンでデコレーションし、フォトフレームに挟んだ後、シールで飾り付けてもらった。



2つの実践を振り返って

大学生向け（日本語学習者）、子ども（小学5年生）を対象に授業を作り変えて実施した。この授業の特徴は難易度設定が自由ということである。だからこそ、大学生、小学生にも対応できたのではないかと考える。ただし、紋切りの形のレベルをたくさん用意することが必要である。

日本語がほとんど通じない場面だったとしても、**紙があれば数学（算数）の要素を取り入れた日本文化に親しむ授業が作成できる**のではないかと思う。